

キャンプファイヤー

1 実施時期

4月から10月まで（11月～3月は実施できません。）

2 青少年の家で準備できる物

◇ 無料で貸出し

①衣装（火の神 火の巫女） ②神のつえ ③ライター ④新聞紙
⑤消火用バケツ ⑦スコップ 提供

※ ①～④は事務室で渡します。⑤消火用バケツと⑥スコップは薪などと一緒にリアカーの乗せて用意します。

※ キャンプファイヤーを行う石津浜には電源がありませんので、ラジカセを利用する場合は乾電池での使用となります。乾電池は団体で用意してください。

◇ 有料：①薪（1本210円）②焚きつけ少々（薪とセットで提供）③灯油（1L100円）

※ 推奨の薪本数は12本、灯油1L

※ ③灯油は、事務室で渡します。

※ 点火、分火用のトーチと拡声装置は各団体で準備してください。

3 事前準備

(1) 実施判断

- 雨天時、強風時は活動できません。最終的な実施判断は、活動直前（夕食後）に事務室で行います。準備をしても、中止となってしまう場合があります。

(2) 場所の選定

- 活動場所は、青少年の家前の石津浜です。特に指定の場所はありませんので各団体で決めてください。火の粉が飛ぶ場合がありますので、風があるときには風下にはいない方が安全です。また、砂地の方が後片付け等がしやすいです。

(3) 資材の運搬と薪の準備

- リヤカーに積んだ状態で資材を提供します。自転車置き場から各団体で運び、準備をしてください。明るいうちに準備をする方が安全です。

4 後片付けについて

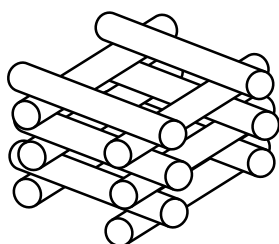
- 使用した資材は、リヤカーごと自転車置き場にもどしてください。衣装、神のつえ、ライターは、事務室に返却してください。
- 薪は完全に燃しきって灰だけにしてください。その後、穴を掘って埋めてください。さらに、その上から水をかけて完全に消火してください。

※ 薪が完全に燃え尽きるまでは、相当の時間（1～2時間程度）を要しますが、最後まで責任をもってお願いします。

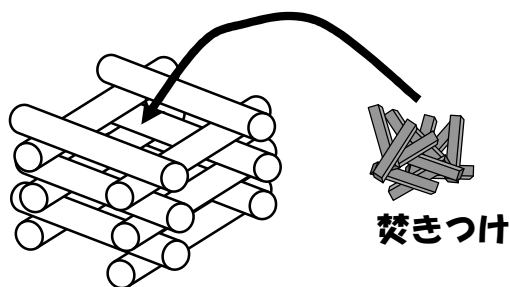
5 その他

- 海岸は漁港管理事務所から使用許可をとり、使用しています。「来たときよりも美しく」を合い言葉に、気持ちよく活動をお願いします。
- 活動後は大変暗くなります。落とし物や忘れ物、怪我のないよう注意してください。

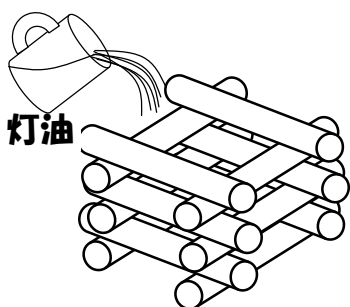
キャンプファイヤーの手順と注意



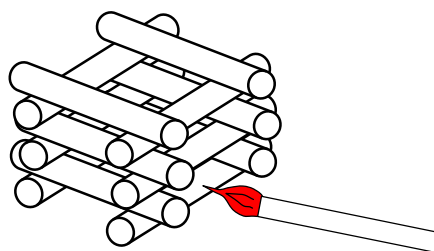
① 12本の薪を井形に組みます。



② こっばを下の方に置きます。



③ 灯油をまんべんなく、かけます。



④ 下から火をつけます。

◇ ファイヤーキーパー（火の係）を必ず決めましょう。

火をつけると、灯油の勢いでバァーっと燃えますが、放置すると表面だけ燃えて終わってしまいます。

◇ 風向きを考えて、配置を決めましょう。

火の粉も多少飛びます。

◇ 薪は、最後まで燃やしきってください。

キャンプファイヤーが終了しても薪が燃え切るまでは、必ず団体指導者1人以上は浜に残り、消火の見届けをしてください。

◇ 灰はスコップで穴を掘って埋めてください。

状況にもよりますが、約2時間ほどで燃えきります。

◇ 最後に水をたっぷりかけてください。

海岸は、許可を得て、使用しています。
”来たときよりも美しく”という気持ちを忘れないでください。